

学校感染症とその出席停止期間

(別紙 1)

	学 校 感 染 症 の 種 類	出席停止の基準
第 1 種	・エボラ出血熱 ・クリミア・コンゴ熱 ・痘そう ・南米出血熱 ・ペスト ・マールブルグ病 ・ラッサ熱 ・急性灰白髄炎(ポリオ) ・ジフテリア ・鳥インフルエンザ(H5N1) ・重症急性呼吸器症候群(SARS) ・新型コロナウイルス ・中東呼吸器症候群	・治癒するまで ・ " ・ " ・ " ・ " ・ " ・ " ・ " ・ " ・ " ・ "
第 2 種	・インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1)を除く) —————→ ・百日咳 —————→ ・麻疹(はしか) —————→ ・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) —————→ ・風疹(三日はしか) —————→ ・水痘(水ぼうそう) —————→ ・咽頭結膜熱(プール熱) —————→ ・結核、髄膜炎菌性髄膜炎 —————→	・発症後 5 日を経過し、かつ解熱した後 2 日(幼児は 3 日)を経過するまで ・特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで ・解熱した後 3 日を経過するまで ・耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで ・発疹が消失するまで ・すべての発疹が痂皮化するまで ・主要症状が消退後 2 日を経過するまで ・症状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで 【注意】結核、髄膜炎菌性髄膜炎を除く第 2 種の感染症については病状により医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。
第 3 種	・コレラ ・細菌性赤痢 ・腸管出血性大腸菌感染症 ・腸チフス ・パラチフス ・流行性角結膜炎 ・急性出血性結膜炎 ・その他の感染症(第 3 種として扱う場合もある) 感染性胃腸炎(ノロ、ロタ)、サルモネラ感染症(腸チフス、パラチフスを除く)、カンピロバクター感染症、マイコプラズマ感染症、インフルエンザ菌感染症、肺炎球菌感染症、溶連菌感染症、伝染性紅斑、急性細気管支炎(RS ウイルス感染症など)、単純ヘルペス感染症、带状疱疹、手足口病、ヘルパンギーナ、ウィルス性肝炎(A 型、B 型、C 型、E 型)伝染性膿疱瘡(とびひ)、伝染性軟属腫(水いぼ)、アトマジミ、疥癬、皮膚真菌症	・症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで ・ " ・ " ・ " ・ " ・ " ・ "